

## 聴覚障害者と共に学んだ写真教室

6月18日(土)午後、健生会友の会の二つのサークル(写真クラブと山歩きクラブ)の共催で「早津忠保写真教室『楽しく写真を撮ろう』」が開かれました。会場は健生荘多目的室、講師は元奈良県美術展覧会写真部門審査員の早津忠保さん。氏は十津川村のカレンダーや写真集で写真家として著名ですが、日本山岳会に所属するすぐれたクライマーでもあります。

この写真教室には26名が参加しましたが、その中には4名の聴覚障害者と2人の手話通訳者が含まれていました。司会をさせてもらった私は「障害者の人たちの参加がとても嬉しい、集団登山では『遅い人に合わせてみんなが歩く』原則があるが、この教室の運営もそのようにさせてほしい」と述べ、障害者の参加者に「遠慮なく意見・質問を」とお願いしました。

講師の早津さんは、はじめに撮影技術の基本について解説し、質疑応答の後、参加者持参の作品について、一つ一つ丁寧な「講評」を行い、対話しました。

参加者は「具体的に指摘してもらって良かった」「分かり易かった」と感想を述べていました。二人の手話通訳の女性からは「こういう機会をどんどん設けて下さい。私たちも協力しますから」と有り難いご意見をいただきました。専門用語も交えた講義や対話を熱心に通訳していただいたことに、改めて感謝申し上げます。

↑ミヤマシオガマ(7月北岳) で受ける感動も大きく大切ですが、こうした身近な場所で、健常者と障害者とが一緒になって様々な課題やテーマで話し合い、思いを同じくすることの大切さも改めて実感したことでした。

### ↑ウツボグサ(6月二上山)

後日、メールその他で「良かった」「楽しかった」との感想が障害者の参加者からも寄せられました。

主催者の一人として、本当に嬉しく、その思いを込めて返信を出しました。



↑メタカラコウ(8月伊吹山)

### ↓カノコソウ(6月福智山)





続・二上山に咲く花々 10

コウゾ(楮) (ヒメコウゾ)

クワ科コウゾ属 (写真は友の会山歩きクラブの澤木仁さん)

この木も和紙の原料。樹皮の繊維は、長くて、強くてよく絡み合うので、紙の強靭さを保障します。二上山谷筋の明るいところで、長く細い枝をしなやかに伸ばして、花をぶら下げのように咲かせます。花期は 4～5 月。夏に実る実は甘いですが口当たりは良くありません。

ところで、和紙のもう一つの原料となるミツマタは自生していませんが、ふたがみパーク公園に植えられており、早春、甘く強い香りを漂わせます。



続・二上山に咲く花々 11

コアジサイ(小紫陽花)

ユキノシタ科アジサイ属



写真は澤木仁さん

二上山には各種アジサイが植えられており、盛夏の陽射しの中で咲き誇っていますが、コアジサイは薄暗い樹林下で花を開きます。

他のアジサイと違って装飾花がありません。びっしりと集まった淡青紫色の花はつつましやかですが、木漏れ日を浴びた時、はっとするような美しさを見せ、「これだから山歩きはやめられない」と思わせるのです。